

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.01.31~02.04

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

1月31日(月)

中国で生産、低価格スクーター
ホンダ/15万円台

ホンダは、中国で生産することで価格を抑えた排気量50ccの新型スクーター「ジョルノ」を発売した。15万9600円。すでに国内生産を終了している同排気量のスクーターより約4万円安く。(7面)



ホンダ「ジョルノ」は、中国での生産で16万円を切った

大塚製薬工場、中国社に出資
輸液用ブラフィルム生産

大塚テクノと大塚製薬工場は、中国で輸液用プラスチックフィルムを製造する南京泰邦生物医用材料に資本参加。中国の輸液製品はガラス瓶からフィルムバックへ容器の転換が進む。(21面)

「中国非難」世界全体が臆病に
人権団体報告書

世界の人権状況に関する年次報告書によると、中国の人権弾圧を非難することに「ほぼ世界全体が臆病になっている」と指摘した。ニューヨークの国際人権団体がまとめた。(26面)

春節を前に故郷に向かう人たちに混雑した上海駅(ブルームバーグ)



米で存在感増す - 中国・インド

米大統領ノ一般教書演説

米国で成長著しい中国、インドなどの存在感が増している。オバマ米大統領は一般教書演説の中で、中国やインド、韓国について繰り返し言及。日本に関してはまったく触れなかった。(26面)

中国ビジネスで定期シンポ

東京投資育成

東京中小企業投資育成は、2011年度に中国ビジネスの経験や課題解決などについて、韓国や台湾、香港、欧米企業経営者らと意見交換する国際シンポジウムを定期開催する。(26面)

2月1日(火)

「春節」を狙え

無料ショッピングバスなど

「春節」を迎え、中国人観光客の取り込みが活発化。JTBグローバルM&Tは、無料のショッピングバスを運行。宿泊者の多い京王プラザホテルなどから秋

葉原、浅草、銀座を回る。(3面)

日立造船、受注目目標10基

中国でのゴミ焼却施設

日立造船は、2012年3月期の中国でのゴミ焼却施設の受注目目標を10基に設定。中国政府が5カ年計画でゴミ焼却施設の全土への新設を掲げている。上海事務所と北京出張所の機能を強化。(7面)

黒田電気、香港に合併

中国GKMとノ金型・プレス部品製造

黒田電気は、中国GKMグループと香港に合併会社「クロダGKM」を設立。金型・プレス部品製造会社を設立する。自動車・家電向けに金型やプレス部品を製造・販売。8月に工場完成。(7面)

タテホ、電融マグネシア増産

大連に新工場ノ2倍、年2万トン

タテホ化学工業は、中国の生産拠点である大連タテホ化学に新工場を建設する。電気ヒーター用電融マグネシアの需要増に対応する。2020年に2倍の年産2万トン体制を構築。(12面)

2月2日(水)

山善が中国現法

深圳ノ台湾企業との取引強化

山善は、中国現地法人を4月1日に設立する。台湾の完全子会社の台湾山善が全額出資し深圳に。現在、中国各地の事務所が約200社に対応。中国に進出する台湾企業との取引を強化する。(7面)

車載用の電池、中国に売却

パナソニックノ湘南工場

パナソニックは、車載用ニッケル水素電池事業(湘南工場)を中国企業に売却する。三洋電機買収に伴う独禁法審査で、中国当局から第三者への譲渡を求められていた。4000万円(約5億円)。(8面)

上海にモバイルサイトの現法

ディーソーコミュニケーションズ

ディーソーコミュニケーションズは、上海に100%出資の現地法人を7月に設立する。モバイル広告の営業支援、モバイルサイト制作など。日系だけでなく、現地企業へも展開する。(9面)

和泉会議所、共同購買ツアー

中小の調達支援ノ問屋やデパートから大阪府の和泉商工会議所は、中小企業の海外進出を支援。まず、小売業者による共同購買ツアーを実施。和泉市内の雑貨店や衣料店など約20社が、浙江省の問屋やデパートから買い付ける。(25面)

2月3日(木)

ソニー、中国企業を買収

エプソンからノ液晶事業拡大

ソニーは、セイコーエプソンから、中国で中小型液晶ディスプレイ製造の後工程を行う100%子会社、蘇州愛普生を買収する。7億7500万円(約96億円)。スマートフォンの需要を拡大。(3面)

河合楽器、調律師の育成施設

寧波工場ノ4位一体体制

河合楽器製作所は、中国工場の河合楽

中国国家大劇院に導入された
河合楽器のピアノ

器寧波にピアノの調律師を育成する教育施設を開設する。ピアノの世界最大市場で技術サービス体制を強化。製・販・音楽教室に加え4位一体体制。(3面)

日本バルカー、樹脂加工合併

中国企業とノ現地メーカー開拓

日本バルカー工業は、子会社を通じて4月に中国のフッ素樹脂加工メーカーの嘉善東方塑製と合併会社を設立する。価格競争力の高い加工製品で現地メーカーの需要を開拓する。(12面)

2月4日(金)

楢本チエイン、日中に新工場棟

タイミングチェーンドライブ

楢本チエインは、2013年度に自動車エンジン用タイミングチェーンドライブシステムの生産能力を世界で3割以上に増強。09年は1100万本。日本と中国は新工場棟、米国は生産ライン増設。(5面)

中国の部品在庫ノ見える化

日立建機ノ代理店にシステム

日立建機は、中国の販売代理店へのサービス・部品販売管理システム導入を始めた。2011年中に26代理店に導入する。部品在庫やアフターサービスの詳細な履歴を見える化。(6面)

東陽テクニカ、従業員2倍

E M C測定システム拡張

東陽テクニカは、中国現地法人の東陽精測系統の従業員を2013年度までに2倍

の20人に増員する。中国生産シフトが進んでいる日系自動車メーカーを中心に、E M C測定システムを拡張。(7面)

日本式農業、中国で支援

三井住友銀行ノ日本総研ノ技術供与

三井住友銀行は日本総合研究所と連携し、中国での日本式農業の普及に乗り出す。自治体などに日本の優れた農業生産技術を提供。上海の富裕層を中心に、日本の高品質な農産物にニーズ。(21面)

TELOP

上海の日東電工子会社株を取得

T D K、65% (1日3面)

レンゴー、中国2社を子会社化

成長戦略市場の展開加速 (3日12面)

プロミス、瀋陽に全額出資子会社

中国で事業強化 (3日21面)

ひと

満開になれノ

中国がG D Pで世界第2位に。一人当



たりのG D Pは、13000ドルで給の具が売れ、5000ドルでボールペンなど筆記具が売れ始める」と、大阪商工会議所副会頭(サクラレパス社長)の西村貞一さん。今の中国は給の具の市場だ。「早く筆記具の市場になって、サクラブランドが満開になれ」と期待する。(2日=25面)

「光」海外展開の下地

「海外事業を将来の増収基盤に育てたい」と力を入れるのは、

N T Tアドバンステクノ

ロジ社長の花沢隆さん。

通信インフラ整備が加速

する中国で、光ファイバ

ー関連製品が好調だ。新興国でネットワ

ーク設計のノウハウ提供を視野に入れ

る。「N T Tグループの海外展開の下地

づくりにも貢献する」。(3日=9面)

TELOP

中心に生産品目を拡大。現地売上高を7

倍の30億円に引き上げる計画。(3面)

フルヤ工業、タイに現法

時計ノカメラのブラ部品ノ日系向け

フルヤ工業は、タイでプラスチック製品の生産を始める。アユタヤ県工業団地に全額出資の現地法人を設立。時計バンドなど外装部品、カメラのグリップを、現地の日系メーカーに納入。(29面)

TELOP

ヤンマー、インドに販社

乗用田植機ノ建機 (3日8面)

フィリピン2社を合併

アートネイチャー (3日21面)

ウズベキスタン鉄道電化を支援

200億円規模の円借款 (4日2面)

ひと

かゆいところに...

「外国人投資家にとって、アジアの成

長の恩恵を受ける日本株

の魅力は上がってきている

と話すのは、M F グ

ローバルF X A証券最高

経営責任者のグラハム・

エリオットさん。「日本株のリポートは、

外国人投資家が投資を決断できる内容で

はない」と、かゆいところに手が届いて

ない現状を指摘する。(2日=17面)

留学生から留学生

「外国に親しい研究室ができると、優

秀な大学院生やインター

シップ生を多数、留学

生として送ってくれるの

が魅力だ」というのは、

東京農工大学大学院工学

府教授の永井正夫さん。「タイからの留

学生が博士号取得後、母国で教育者にな

った」ことで、留学生が留学生を生む

状態になっている。(2日=21面)

今回は -

14日(月)は新聞休刊日ですので、

「中国・アジア ダイジェスト」面の

今回は21日(月)に掲載します。

ASIA

1月31日(月)

ユタカ技研、インド工場を増強

排気系部品ノホンダの小型車

ユタカ技研は、インド工場を増強。4輪車用はホンダの新興国向け小型車への供給に備え、排気系部品の生産能力を高めた。2輪車用はブレーキディスクを年150万枚に倍増した。(7面)

ホーチミン地下鉄の車両に応札

日立ノ三菱重工ノ川重ノ東芝

日立製作所、三菱重工業、川崎重工業、東芝の四つの日本連合がベトナムのホーチミン地下鉄プロジェクト向け車両に応札した。供給数は51両で、工事も含めた総事業費は500億円規模。(8面)

富士ゼロックス、ベトナム拡充

カラー複写機好調ノ販社増員60人

富士ゼロックスは、ベトナム事業を拡充。ホーチミンの販売会社を20%増の約60人に増員。カラー複写機・複合機やアフターサービスなどが好調。成長市場の開拓速度を上げる。(10面)



ホーチミン市内の販売会社(富士ゼロックス)

韓国L E D電球企業、日本参入

日本企業とのニーズでデザイン

韓国のL E D電球メーカー、ファインテクニクスが、日本の産業用照明市場に参入。代理店網を整備し、日本企業のニーズに合わせてデザインから製品を受託製造。売上高100億円を計画。(10面)

ヤマト、10国ノ地域で展開

9カ年計画ノ宅配便50%増約20億個

ヤマトHDが、2020年3月期に宅配便50%増の約20億個などを目標にした9カ年計画。国内を掘り起こし、現在の上海とシンガポールでの宅配便を10カ所以上の国や地域で展開する。(21面)

信州ハム、ベトナム進出

スーパーでノ中間層から富裕層

信州ハムは、ニチレイフレッシュ、豊田通商とベトナムでハム・ソーセージを販売する。都市部を中心に冷蔵庫が普及、中間所得層から富裕層をターゲットに、スーパーなどで販売。(21面)

興和、印アダニと提携

エネルギー分野など

興和と印アダニグループは、日本とインド事業で包括的事業提携。第1弾としてアダニは日本製タグポート5隻調達。興和は医薬品のほかに総合商社としてエネルギー、港湾開発など展開。(21面)

2月1日(火)

タチエス、タイ40%増強

車用シートノ日産向け20万台分

タチエスは、タイで自動車用シートの生産能力を約40%増強した。米リアとの合併が工場を取得、ラオーン工場からラインを移管。日産自動車の現地工場向けに年約20万台分。(5面)

横浜ゴム、フィリピンに新工場

2.4倍、年1700万本ノ北米向け

横浜ゴムは、フィリピンに乗用車用タイヤの新工場を建設する。現状年700万本の生産能力を段階的に高め、2017年に2.4倍の年1700万本に。主に北米向けのタイヤを生産。総投資500億円。(5面)

トーカロ、台湾に合併

半導体ノ液晶製造装置部品の溶射受託

トーカロは、台湾の漢泰科技と半導体・液晶製造装置部品の溶射や洗浄、アルマイトなどの加工受託を行う合併企業を4月に設立する。技術指導しながら現地顧客に現場で対応する。(12面)

日中韓、製販の3極体制

マグネテックジャパン

マグネテックジャパンは、製造・販売の日中韓3極体制を確立する。韓国W S

Mに資本参加。中国では、合併会社の経営を主導する。磁力応用製品の市場開拓を加速する。(27面)

インドネシアに現法

ワークブレインズノI T支援

ワークブレインズは、インドネシア・ジャカルタに現地法人を設立する。インドネシアに進出した日本の中小製造業向けにシステム開発などI T支援サービスを提供する。(27面)

2月2日(水)

グッドデザイン賞、印で展開

家電や産業機械ノ90点を展示

経済産業省は、インドでグッドデザイン(G D)賞の海外展開に乗り出した。第1弾として3月4日からデリー市内で展示会。家電や産業機械などG D賞の最新製品約90点を展示する。(2面)

「アジアを代表する証券」に

大和証券グループノ日比野次期社長

大和証券グループ本社の日比野隆司次期社長は「社員や家族が誇りを持って、アジアを代表する証券グループを目指す」と抱負。「アジア戦略は早急に利益を出せるように」と意気込み。(3面)

ホンダ、2輪増産

印新工場倍増120万台ノベトナム拡張

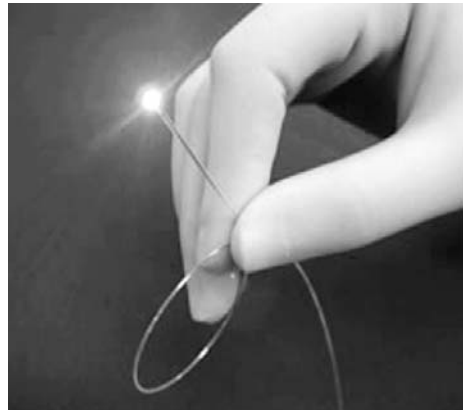
ホンダは、新興国で2輪車の生産能力を大幅に引き上げる。ナイジェリアは5倍。インドは建設中の第2工場を当初計画の年60万台から倍増の年120万台に。ベトナムの第2工場も拡張。(5面)

ホンダ・2輪車工場の主な増強計画			
生産国	現行生産能力	設備増強後	
インドネシア	350万台	400万台	
ベトナム	150万台	200万台	
インド	165万台	285万台	
ブラジル	150万台	200万台	
ナイジェリア	15万台	20万台以上	
年産ノ検討中の案件を含む			

イビデン、マレーシア第2工場

スマートフォン用マザーボード

イビデンは、300億円を投じてマレーシアに第2工場を建設する。スマートフォン用のマザーボードを生産。2012年夏稼働。生産能力は年4万平方メートル。第1工場の稼働を待たず着工。(8面)

光ファイバーを応用した
血管内視鏡(フジクラ)

フジクラ、ベトナム倍増

血管内視鏡ノスパコンコネクタ

フジクラは、2015年度にもベトナム現地法人の売上高を倍増の160億円に拡大させる。新工場棟を稼働、人員を倍増。血管内視鏡やスパコン用コネクタなど新製品を立ち上げる。(8面)

マイコンでアジア開拓

パナソニックノ中国拠点3倍増員

パナソニックは、組み込みマイコンでアジアの開拓を強化する。中国サポート拠点に3倍に増員。4月にはシンガポールの開発拠点でアジア向けのマイコン設計をスタートする。(8面)

日本ゼオン、インドに販売拠点

自動車向け合成ゴム製品

日本ゼオンは、2011年度中にもインドに自動車向け合成ゴム製品の販売拠点を設置する。インドへの拠点設置は初めて。販売拠点を軸に、将来の現地生産化などにつなげる考え。(10面)

2月3日(木)

インド自動車部品と関係構築

鋳造協会ノ鋳造機械工業会ノ展示会出展

日本鋳造協会と日本鋳造機械工業会は、インドの自動車部品業界などとの関係構築に乗り出す。鋳物展示会に会員の日本メツボなど9社が出展。鋳造関係者との意見交換会も開催する。(4面)

三菱重工、インドで5基受注

火力発電所ノボイラノ蒸気タービン

三菱重工工業は、インドで高効率火力発電

mono-ch 企業チャンネル

固有の技術と製品で存在感を示す日本のものづくり企業。各社各様の知恵と工夫に富んだ企業の中から、貴社にとって選りすぐりの企業が見つかります。

特集 チャンネル

ものづくりを取り巻くさまざまな切り口で役立つコンテンツを掲載。話題のイベントや個別業界などにスポットを当てた企画で、ビジネスの動きが読み取れます。

読み物 チャンネル

インタビュー、レポート、コラム...ものづくりに関する最新の視点と課題をばっちり分析。読者を取り巻く101の切り口記事のなかには、発見と学びの宝庫が隠れています。

教育イベント チャンネル

ものづくりに関する全国各地のイベント・セミナー情報を掲載。開催イベントを含む情報入力を通じて、貴社の情報感度とネットワークを高めます。

専門・技術 チャンネル

ものづくりを支える多様な技術と専門技術を幅広く紹介。業界や製品に特化したピンポイント解説で、貴社のインテリジェンスが深まります。

地域 チャンネル

全国各地のものづくり企業を地域単位で紹介。地場産業などその地域ならではの個性派企業が見つかります。



日刊工業新聞社

電子メディア事業室

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL. 03-5644-7090

http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/

mono-ch@nikkan.co.jp